

願 がん

生 しょう



令和7年7月
第57号

今号の言葉

損か得か

人間の物差し

嘘かまことか

仏さまの物差し



私たちが日頃行動する基準となっていることは、この出来事は自分にとって損なことなのか、得なのだろうか、自分の思いにかなう事か否か、自分の役に立つか否かということがあろうかと思えます。それは到って当然なことかと思えますが、その中心にあることはどこまでも「自分」ということです。是であれば嬉しいし、否であれば苦痛です。どこまでも自分を中心とした是か非かという事が私たち人間の物差しとなっています。

それに対して仏さまの物差しというものはそれが自分にとって都合が良い悪いではなく、それが道理にかなっているかどうかということです。世の中には私たちが好む・好まないに関係なく道理というものがあります。私たちがどれだけ拒んでも、縁起という道理に沿って境遇が現れます。老いや病、死というものもどれだけ遠ざけてもいつか必ずやってきます。つまり私を中心に動いているのではなく、道理が中心となつて動いています。はっきりしていることは私たちの視線は外ばかりに向かっているの、道理に目がいかに、自分の望む条件でしか現実を受け入れることが出来ません。それが地獄の原因です。そうであるからこそ私たちは日頃から仏さまの「嘘かまことか」「それはあなたの都合ではないのか」という呼びかけにしっかりと耳を傾け、自分を過信せずに謙虚に自身の歩みを修正していく必要があるかと思うのです。それこそが仏道を歩むということです。

祠堂経会のご案内



今年も祠堂経会しどうきょうえの季節になりました。祠堂経会しどうきょうえとはこれまでに亡くなられたお寺のご門徒の方々の法名ほうみょうを一同にお飾りし、読経を行い讃嘆供養さんだんくようする仏事です。同時にこの一年間に亡くなられたご門徒の物故者法要を勤めます。門徒の皆さまのご先祖の法名を一同にお掛けするのはこの行事だけです、是非お参りください。

昼食にお斎とき（食事）の提供を行います。亡き人への思いを込めた大切な仏事です。午前だけでも午後だけでも構いませんので、どなたでもお誘い合わせてお参りください。

日時 七月五日（土）
時間 午前九時半〜 お勤め・法話
午後十三時〜 お勤め・法話
法話 石川正穂師（富山市水橋 玉永寺住職）
午後の法話は当寺副住職が行います
お斎とき（食事）を準備しています。是非お参りください。

夏の行事のご案内



暁天講座ぎょうてんこうざとは夏場でも比較的に涼しい早朝に法話を聴聞ちやうもんする仏事です。是非お誘い合わせてお参りください。

●暁天講座
日時 八月十一日（月）山の日
時間 午前五時三十分〜六時三十分
講師 野田博俊師（朝日町宮崎明光寺住職）
講題 平家物語と浄土の教え

また当寺では主要行事のない月の十日に仏教講座を行っています。講師は副住職で、現在は平生のお勤めで読んでいる、帰命無量寿如来きみょうむりやうじゆにょらいでおなじみの「正信偈しょうしんげ」の解説を行っています。基本的に一回につき赤本二頁の解説を行う予定です。一緒に「正信偈しょうしんげ」を学びましょう。

●仏教講座
日時 八月十日（日）、次回は九月十日（水）
時間 十三時半〜十四時半

地域との交流



四月二十六日(土)に当寺が所在する三島町の方々、約五十名が、教養講座としてお寺を訪ねられました。これは自分が住む町の文化や歴史を視察しながら、学んでいくというものです。お寺では当寺の歴史等をお話ししました。当寺の始まりは今から八百年以上前に遡り、浄土真宗の宗祖である親鸞聖人が立ち寄られたことがきっかけだったことをお話しすると、皆さん非常に驚いていらっしゃいました。近所にあり、毎日見てはいましたが、歴史などは詳しく知らない方が多かったので、とても貴重な場だったと多くの方がおっしゃっていました。当日はヤフージャパンのライターの方が参加され、記事がインターネットに掲載され、後多くの反響がありました。興味のある方はこちらからご覧ください。



QRコード



境内に咲く数珠掛け桜



三島町教養講座



黒部仏教団花まつり



本堂向拝のワックス掛け



日常の草むしり



花まつりの誕生仏

お寺の日常風景



坊守日記 ぼうもり



今年も梅雨の季節になり、毎年恒例の梅シロップ作りを行いました。お寺の梅は今年是不作だったので、和歌山の梅を買ってきて梅シロップを作っています。祠堂しどうきやう経会えのお斎ときの際に皆さんにお出しし、喜んでもらえた事が嬉しくて、毎年この時期になると梅シロップを作るようになりました。香りがよく青々とした梅に出会えるのは、五月の中旬から六月にかけてです。梅雨を迎えるこの時期に梅シロップや梅干しをつけるのは、日本の暮らしの醍醐味です。季節を五感で感じられる「梅仕事」は日々の忙しさから、少し離れるための大事な仕事です。梅シロップが出来上がる頃になれば、ちょうど祠堂経会しどうきやうえを迎えます。夏休みを迎え、私にとってはとても忙しい時期になる前になるので、こういったリフレッシュできる時間は貴重です。



梅シロップ

編集後記



先日市内の寺院にて黒部仏教団主催の花まつりが開催され、私は運営の側でお手伝いさせていただきました。この花まつりはコロナ禍の影響で、平成三十年から七年ぶりの開催ということもあり、八十名を超えるお稚児さんの参加がありました。当日は晴天にも恵まれ、保護者を含めると二百名以上の稚児行列が行われ、見事な光景でした。当寺のご門徒さんからお稚児さんとして何名か参加され、とても良い思い出になったと言ってくれました。思い返せば今から約十年前に、娘がお稚児さんとして参加した時の姿を思い出しました。あの時小さかった娘もはや中学生かと、改めて健やかな成長に様々な感謝の思いが込み上げてきました。



辻徳法寺

真宗大谷派
親鸞聖人聖跡
三本柿の寺

〒938-0031

富山県黒部市三日市3214

TEL・FAX(0765) 52-0791

ホームページアドレス

<https://tokuhoji.net>

@temple_english_tokuhoji



今後の仏教講座の予定は8月10日(日)13時半～です。

9月10日(水) //

正信偈のお話を2ページずつ行っています。一緒に学びましょう。